

地域医療連携新聞



No.58
平成26年4月号
(隔月発行)

発行/朝日大学村上記念病院(地域医療連携室)
岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL.058-253-8001(代)
TEL.058-253-8920(直) FAX.058-253-8910(直)

最近の話題・トピックス

「化膿性脊椎炎」

整形外科 今泉 佳宣

私は当院へ赴任して間もなく18年になります。その前は2年間という短い期間でしたが脊椎外科を勉強するために東京都武蔵村山市の国立療養所村山病院(現村山医療センター)で仕事をしました。療養所と名のついている通りそこはかつて結核患者さんのための医療施設であり、結核性脊椎炎いわゆる脊椎カリエスの患者が多くいる病院でした。

結核患者が減少したことに伴い脊椎カリエスの患者は減少し、私が勤務していた当時脊椎カリエスの症例はそれほど多くありませんでした。しかし結核菌でない一般細菌の感染が原因で起こる化膿性脊椎炎と呼ばれる症例を多く経験しました。

当院に赴任してからも毎年何例かの化膿性脊椎炎を経験しています。決して数は多くありませんが、診断が遅れると治療期間が遷延する疾患であり注意が必要です。

化膿性脊椎炎の患者さんにはいくつかの特徴があります。1つは高齢者が多いこと、もう1つは内科的基礎疾患をもつ人が多いことがあげられます。糖尿病、肝疾患、ステロイドなどの免疫抑制剤の服用は発症因子となります。またアルコール多飲も危険因子です。このような基礎疾患や嗜好の有無については必ず問診で聞き取るようにします。

問診の次に診察を行います。通常発症当初は背中や腰の激しい痛みを訴えます。特徴的なのは脊椎不稜性といって、脊椎をなめらかに動かすことができずにぎこちない動きになります。さらに硬膜外膿瘍で脊髄が圧迫されている場合は下肢または上肢のしびれ感や運動障害を合併しており、四肢の知覚障害や筋力低下の有無を調べます。

検査として必須となるのは血液検査です。血沈やCRPの高値が

特徴ですが、これらが当てはまらない症例も存在します。画像検査として脊椎単純X線写真を撮影しますが、発症当初は異常所見を認めないため患者さんに「異常ありません」と言うてしまうことがあるので注意が必要です。X線写真で異常がなくても本疾患を疑う場合は脊椎のMRI検査を行うことで診断が確定します。

診断が確定した場合、通常入院で治療します。起炎菌を同定するために病巣部の生検をおこなったのち、細菌感受性のある抗生物質を投与します。投与期間は通常4~6週間です。また食事とトイレ以外はできるだけ安静にして病巣へ負担をかけないようにします。

比較的早期に診断することが可能となり抗生物質の投与で治ることが多いのですが、現在でも手術治療を行うことがあります。抗生物質に反応せず骨破壊が進行し脊柱不安定性を生じている場合や、硬膜外膿瘍による脊髄・神経麻痺を生じている場合が手術適応となります。

手術は病巣が椎間板ないし椎体に存在するため胸腹外または腹膜外経路による前方固定術を行います。整形外科医が胸や腹を開けるのかと言われそうですが、基本的脊椎手術の1つであり3時間ほどで手術は終了します。

手術後は抗生物質の投与を続けながらギプスを巻いた状態で離床します。約1カ月ギプスを装着したあとはコルセットを装着します。コルセットの装着期間は約2カ月です。

以上まとめますと、①高齢者で頑固な腰痛が続く場合は脊椎感染症を念頭に置き、血液検査と脊椎MRI検査で診断を確定する。②生検を行ったのち感受性のある抗生物質を投与する。③抗生物質の効果が無い場合や硬膜外膿瘍による神経麻痺が存在する場合には手術を考慮することがある、となります。

整形外科の先生のみならず内科の先生も日常診療で腰痛の患者さんを診察する機会があると思います。腰痛を訴える患者さんをみた場合、ぜひ本疾患を念頭に置き、おかしいと思ったら血液検査を行っていただきたいと思います。

***** 新任医師のご紹介 *****



消化器内科 教授
やぎ のぶあき
八木 信明



消化器内科 助教
きたえ ひろあき
北江 博昭



消化器内科 助教
きむら れいこ
木村 礼子



呼吸器内科 准教
ふなぐち のりひろ
舟口 祝彦



脳神経外科 助教
たけい ひろまさ
武井 啓晃



糖尿病内分泌内科 助教
きたえ あや
北江 彩



歯科口腔外科 講師
あだち まさとし
足立 誠
*10月より赴任



歯科口腔外科 講師
おはし しずえ
大橋 静江



歯科口腔外科 助教
くすもと あゆみ
樽沼 歩

村上記念病院

脳卒中 ホットライン

直通電話番号

070-6583-6677

脳卒中治療は一刻を争います。
当院では専門医が速やかな
診断・治療を行います。



診療医ご案内

(平成26年 4月 1日現在)



診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	福田	八木	大洞	久保田 (非常勤)	加藤(隆)	八木 大島(靖)
	予約診	小島	大洞	小島	加藤(隆)	北江(博)	加藤(隆)
	予約診	八木	大島(靖)	木村	—	福田	—
循環器内科		瀬川	加藤(周)	瀬川	加藤(周)	大野 (腎臓内科)	担当医
		八巻	大野 (腎臓内科)	八巻	渡辺 (非常勤)	早川 (非常勤)	—
腎臓内科		大橋	—	大橋	泉	—	大橋
糖尿病・内分泌内科		猿井 柳瀬	武田 柳瀬	武田 佐々木・北江	猿井 佐々木・北江	猿井 武田	武田 佐々木
呼吸器内科		中島	舟口	舟口	中島	舟口	中島
外科		久米	桐野	久米	中嶋	川部	担当医
		高橋	川部	桐野	—	中嶋	—
乳腺外科	1診	川口	細野	川口	細野	川口 (2・4週目)	細野 (1・3・5週)
	2診	細野	川口	細野	川口	細野	川口 (2・4週)
脳神経外科		山下	郭	山下	坂井	担当医	郭
		坂井	宮居	武井	宮居	—	武井
整形外科	初診	日下・河合	青芝/山賀	塚田	後藤(毅)	前田	担当医
	予約診	—	—	前田	河合	大友	—
	予約診	—	今泉	日下	山賀	日下	今泉 (第1・3週)
	予約診	後藤(毅)	塚田	青芝	塚原	今泉	塚原 (第2週)
眼科	1診	杉本 (非常勤)	杉本 (非常勤)	奥村 (非常勤)	—	奥村 (非常勤)	—
	2診	—	矢田	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原	土屋 (非常勤)	江原	江原	江原	—
婦人科		藤本	(予約制)	(予約制)	藤本	藤本	—
放射線治療科		—	田中(秀) (非常勤)	—	大宝 (非常勤)	—	—
歯科・口腔外科	初診	村松・本橋 大橋	足立・榑沼 大橋	中島・村松 関根	齋藤・榑沼 大橋	本橋・村松 大橋	足立・榑沼 村松

【ご案内】 ●診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。